

国立駅周辺 整備事業 の現在

(2025.9改訂版)



2025(令和7) 年9月
国立市



まちと人がつながる、緑と文化のくにたち広場

はじめに

本冊子は、国立駅周辺整備事業が現在どのような計画となっているのか、どのように整備されるのかをお伝えする冊子です。広く市民の皆様にご確認いただけると幸いです。

国立駅周辺整備事業は、多くの市民、議会、関係機関、関係事業者の皆様のご理解、ご協力により進められているものです。改めて感謝を申し上げますとともに、引き続きご理解、ご協力をたまわりますようお願いいたします。

これからも多くの人に愛され、住みたいまち、住み続けたいまちとして発展を続けていくよう、まちづくりを行ってまいります。

これまでの経緯

(1) 「国立駅周辺まちづくり基本計画」策定

- 国立駅周辺のまちづくりを進めていくにあたっての基本的な方向性を示す「国立駅周辺まちづくり基本計画」を2009（平成21）年11月に策定しました。
- 基本計画ではまちづくりの理念を「一まちと人がつながる、緑と文化のくにたち広場ー」とし、以下の5つをまちづくりの目標として定めています。
 - ① 市民が集い、来訪者を迎え、にぎわいと交流のあるまちづくり
 - ② 人にやさしい、安全で安心な環境作りや環境負荷低減のまちづくり
 - ③ 駅周辺の景観とシンボルをいかしたまちづくり
 - ④ 個性的なまちなみを生かした回遊性のあるまちづくり
 - ⑤ 出会いと発見、文化を発信するまちづくり
- この計画に基づき、以降、事業内容の検討、決定を行ってまいりました。

（２）国立駅周辺まちづくり会議

- 国立駅周辺の整備事業を推進するために、多岐にわたる事業を一貫してコーディネートしていくことを目的に、市民や学識経験者、関係機関等が一堂に会して事業を検討できる組織として、国立駅周辺まちづくり会議（以下、まちづくり会議）を設置し、関係機関との協議に向けた条件整理等の検討を行いました（公募市民４名を含む１２名の委員）。
- まちづくり会議は、2010（平成22）年8月から2013（平成25）年9月まで開催され、**国立駅南北駅前広場の整備方針、国立駅周辺の交通計画、旧国立駅舎再築を含めた国立駅周辺の景観のあり方、国立市が利用可能な高架下部分の活用方法等**を検討しました。
- それを受けて、以後の関係機関との協議、事業展開に向けた補助金申請等、事業の具体化については市に委ねられることになりました。

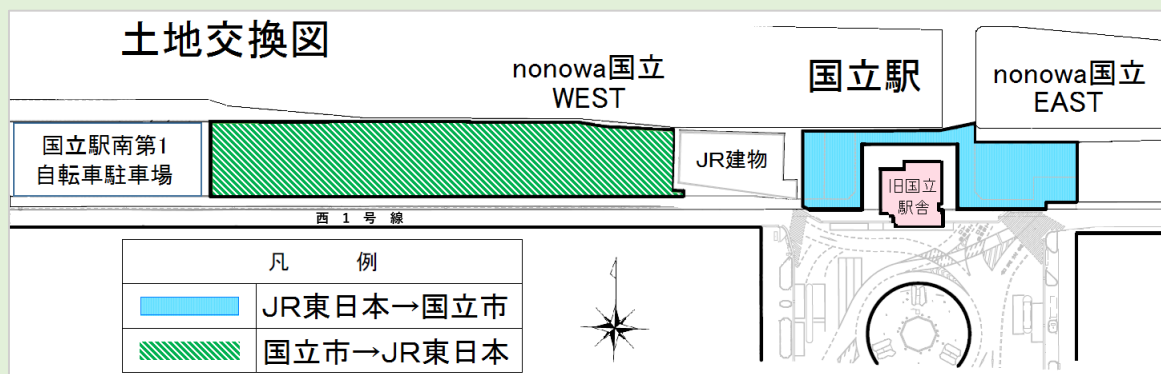
（３）個別事業の具体化、決定

- 国立駅周辺の交通計画**は、交通管理者との協議を段階を分けて行い、2015（平成27）年4月に北口駅前広場、北1号線、西1号線、西1条線（延伸部含む）の協議を終了し、2016（平成28）年1月に南口駅前広場、東1号線の協議を終了しました。なお、2025（令和7）年に南口駅前広場は現在の交通体系を踏まえ再協議を行いました。
- 北口駅前広場整備事業**は、2019（平成31）年3月に完了しました。
- 都市計画道路3・4・10号線整備事業**は、2018（平成30）年度に電線共同溝設置工事等、2020（令和2）年度に道路築造工事を行い、2021（令和3）年3月に開通しました。
- 旧国立駅舎再築事業**は、JR東日本のご協力のもと2017（平成29）年2月に用地売買契約を締結し、2018（平成30）年6月に工事着手し、2020（令和2）年4月に施設を開設しました。
- 高架下市民利用施設整備事業**は、広域連携の観点から、共同で施設を設置するための国分寺市との協議、2017（平成29）年度の整備工事を経て、2018（平成30）年5月に施設を開設しました。
- 国立駅南口子育て支援施設整備事業**は、2021（令和3）年11月に「国立駅南口子育て支援施設整備方針（案）」の策定、パブリックコメント等を行い、2022（令和4）年に「国立駅南口子育て支援施設整備方針」をまとめました。2024（令和6）年度に工事を開始し、2025（令和7）年7月に「子育て・子育て応援テラス」として開館しました。

（４）国立駅南口における用地交換

- 2017（平成29）年に、JR東日本が国立駅南口に商業ビル２棟を建設する計画の報道がありました。この計画に対して、市民やまちづくり推進団体から再考を望む声が上がりました。市議会でも審議されました。
- 市とJR東日本は、国立駅周辺のまちづくりに資する国立駅南口の開発の考え方について協議を重ねた結果、2023（令和5）年2月に下図のように用地を交換する契約を締結しました。

用地交換



各整備事業概要



➤ 国立駅周辺道路 p.5~6

ー概要ー

- * 都市計画道路3・4・10号線整備
- * 北1号線整備 * 東1号線整備
- * 東2号線整備 * 東3号線整備
- * 西1号線整備 * 西1条線延伸部整備

ーお問い合わせ先ー

- * 国立市都市整備部道路交通課整備係
☎ 042-576-2111（内線351・352）



➤ 駅前広場 p.7~9

ー概要ー

- * 国立駅北口駅前広場整備
- * 国立駅南口駅前広場整備

ーお問い合わせ先ー

- * 広場デザイン・市民参加等について
国立市都市整備部国立駅周辺整備課
☎ 042-576-2111（内線382）
- * 道路・交通・植栽等について
国立市都市整備部道路交通課整備係
☎ 042-576-2111（内線351・352）



➤ 旧国立駅舎 p.10

ー概要ー

- * 旧国立駅舎再築

ーお問い合わせ先ー

- * 旧国立駅舎再築事業について
国立市都市整備部国立駅周辺整備課
☎ 042-576-2111（内線382）
- * 旧国立駅舎運営・利用について
旧国立駅舎
☎ 042-505-6651



➤ 子育て・子育て応援施設 p.11~12

ー概要ー

- * 国立駅南口子育ち・子育て応援テラス整備

ーお問い合わせ先ー

- * 国立駅南口子育ち・子育て応援テラスについて
☎ 042-505-6501
- * ひととき保育室（一時預かり室）について
☎ 042-505-6502



➤ 高架下市民利用施設 p.13

ー概要ー

* 国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ整備

ーお問い合わせ先ー

* 国立市市民サービスコーナー

☎ 042-501-6890

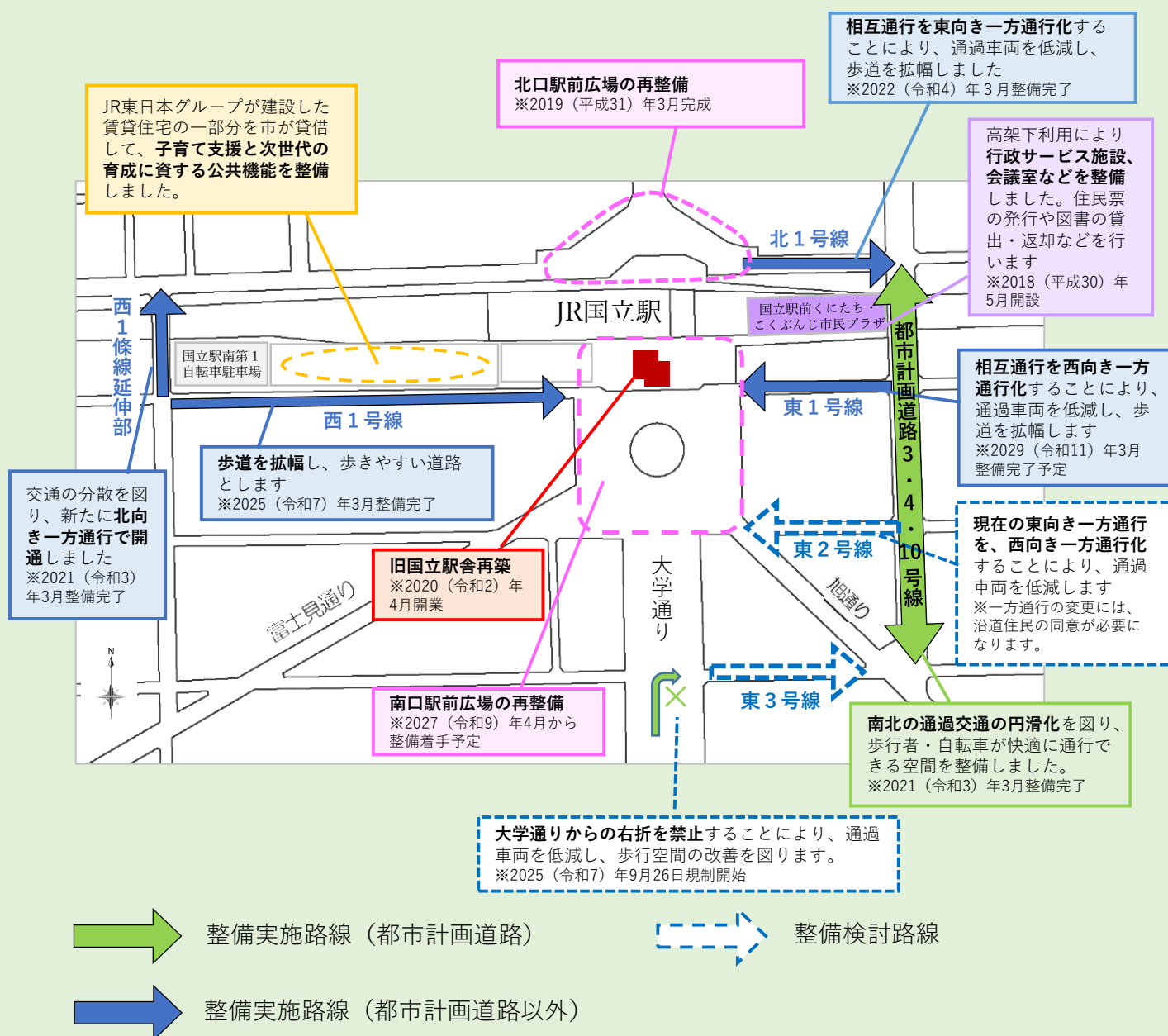
* 国分寺市市民サービスコーナー

☎ 042-573-4377

* くにたち男女平等参画ステーション

☎ 042-501-6990

全体図



国立駅周辺道路整備

(1) 整備の考え方

- ・ 国立駅周辺を歩きやすい空間とするため、道路の一方通行化を行い、歩道を拡幅します。
- ・ 国立駅周辺の交通体系を変更することで国立駅前の通過交通を低減します。
- ・ 都市計画道路3・4・10号線、北1号線、東1号線については、電線共同溝を整備し、電線を地中化することで、電柱を無くし安全で景観が良好な道路環境とします。
- ・ これまでに国立駅周辺まちづくり会議で議論し、交通管理者と協議してきた広場計画等の内容を踏まえ、国立駅周辺全体の交通規制のあり方について、整備に向けた協議を行います。
- ・ これまでの関係機関等との協議を踏まえた整備の予定は、以下のとおりです。

整備実施路線	都市計画道路3・4・10号線、北1号線、東1号線、西1号線、西1条線延伸部
整備検討路線	都市計画道路3・4・10号線（北）、東2号線、東3号線 ※整備検討路線については、道路の損傷状況や財源を見据えて、今後、整備手法の検討を行います。

(2) 現在の状況

- ・ 2021（令和3）年3月27日に国立駅周辺の交通体系が変わりました。

現在の交通体系



※図中の①と②の交通規制については、今後の沿線住民や交通管理者との協議により変更となる場合があります。

① 3・4・10号線開通

都市計画道路3・4・10号線（赤矢印）が開通したことにより、国立駅南北交通の主要動線ができ、旭通りと国立駅北側の行き来がしやすくなりました。それに伴い、東1号線（青矢印）は西向きの一方通行としました。

② 西1条線延伸

西1条線延伸部（緑矢印）が開通したことにより、南口駅前広場を経由せずに国立駅北側に行けるようになりました。これにより交通が分散され、南口駅前広場の交通量も低減します。

③ 信号機の移設

都市計画道路3・4・10号線と旭通りの交差点は、周辺の交差点よりも交通量があることから、東4号線と旭通りの交差点の信号を移設しました。

④ 信号機の撤去

西1条線と西3号線の交差点は、富士見通り側の交差点と近接しすぎているため、2021（令和3）年2月5日に信号が撤去され、南北優先の道路となりました。

⑤ 歩道の拡幅

北1号線は東向きの一方通行となり、歩道を拡幅しました。また、西1号線は歩道拡幅とともに両側歩道として整備しました。



▲整備完了後の北1号線



▲整備完了後の西1号線

（3）今後のスケジュール（予定）

- ・ 東1号線：2028（令和10）年度整備完了予定
- ・ 東2号線：未定（道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。）
- ・ 東3号線：未定（道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。）
- ・ 都市計画道路3・4・10号線（北）：未定（経済動向等を勘案し着手時期を決定します。）

北口駅前広場整備（整備完了）

（１）整備の考え方

- ・ 北口駅前広場は自動車動線を整理し、歩行者の横断距離を低減することで安全性の向上を図りました。
- ・ ラチ外コンコース（通称、南北通路）前に環境空間となる広場を整備して、「北口駅前広場－旧駅舎－南口駅前広場の一体化」を図りました。
- ・ 北1号線の歩道拡幅やJR東日本の整備による歩行空間「ののみち」と併せて、国立駅周辺の回遊性が高まります。
- ・ 駅側のバス停にもシェルターを整備することで、雨天時等のバス待ちがしやすくなりました。



（２）現在の状況

- ・ 2019（平成31）年3月に整備を完了しました。

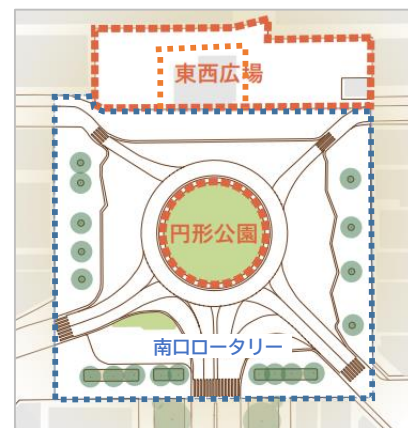
▼整備後の北口駅前広場



南口駅前広場整備

(1) 整備の考え方

- 用地交換により市が取得した旧国立駅舎東西の用地を広場空間として利活用するために整備します。
- ロータリー形状を維持したまま、歩行者空間を拡大するように検討、協議を行います。また、交通動線を整理して安全性を高め、バリアフリー対応とします。
- 円形公園の活用については、イベント時等、非日常的に市民が立ち入り可能となるように検討、協議を行います。
- 周辺市街地への配慮や今後の利活用を想定しながら、国立駅前の広場空間として必要な機能やデザインに関して基本的な方向性を定めた「旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針」を2022（令和4）年7月に策定しました。

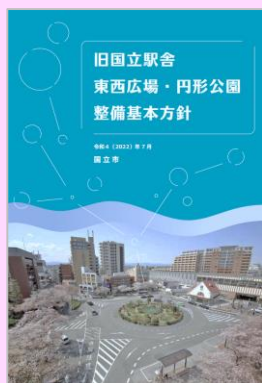


▲整備対象範囲図

(2) 現在の状況

- 2022（令和4）年10月から12月にかけて、国立駅南口駅前デザインアイデアコンペを実施し、具体的な広場のアイデアを広く募集しました。18の優秀作品の選定を通じて、広場整備において大切にしたい視点を明確化し、プロポーザルに結びました。
- 2023（令和5）年に国立駅南口駅前広場基本設計業務委託公募型プロポーザルを実施し、受託事業者を選定しました。
- 2024（令和6）年1月から基本設計業務に着手し、ワークショップや社会実験等でご意見をいただき基本設計案をまとめました。

関連資料



▲旧国立駅舎東西広場・円形公園整備基本方針
2022（令和4）年7月策定

▼デザインアイデアコンペ応募作品集（291のお便り） 2023（令和5）年11月刊行



基本設計の取組み



▲くにたちえきひろ大学
ワークショップ（3回実施）



▲広場社会実験

(3) 今後のスケジュール (予定)

- ・ 設計：2023（令和5）年1月～2026（令和8）年12月
- ・ 工事：2027（令和9）年度～

基本設計案

▼国立駅南口駅前広場 イメージ

西側広場



東側広場



全体イメージ



▶ コンセプト

約100年前、国立駅と共に大学町が生まれました。三角屋根の駅舎、水禽舎のある円形公園が特徴的な駅前広場は人々が集まる場所でした。これらは時と共に車中心の空間に変わっていきました。

現在、旧駅舎再築を機に、駅前を人中心の空間とする機運が高まっています。そこで、駅前から大学通りに繋がる緑と人の空間をつくり、そこに集まる動植物も含め、それぞれが居心地よく過ごせる駅前広場をコンセプトとしました。そして、そこに人々が関わり、さまざまな活動を通して考え学ぶ場へと成長する国立駅南口駅前広場を目指します。

旧国立駅舎再築（整備完了）

（１）整備の考え方

- 旧国立駅舎再築用地の周辺は、都市計画マスタープランで都市拠点として位置付けられています。また、国立市景観づくり基本計画に基づく都市景観形成重点地区候補地に位置付けられています。
- 旧国立駅舎は1926（大正15）年の創建当時の姿に再築しました。
- 再築用地は約648㎡の土地です。そのうち、約138㎡はもともと市が所有していた土地で、残り約510㎡は、JR東日本のご協力により、2017（平成29）年2月に取得した土地です。
- 再築位置は、駅周辺の歩行者動線の検討やJR東日本との協議の結果、元の位置から西方向に約3m、南方向に約5m移動した位置とし、駅利用者の歩行者動線を阻害しない場所としています。

（２）現在の状況

- 2020（令和2）年4月に整備を完了し、オープンしました。

施設紹介



◀ 広間

▶ まち案内所



所在地	国立市東1-1-69
閉館日	年末年始（12/29～1/3）
開館時間	【平日】 ・ 広間 午前7時～午後10時 ・ まち案内所・展示室 午前10時～午後7時 【土日祝】 ・ 広間 午前9時～午後10時 ・ まち案内所・展示室 午前9時～午後7時



▲ 館内図

（３）旧国立駅舎の活用について

- くにたちの魅力を発信する拠点として活用します。
- イベント等の開催場所として、旧国立駅舎の利用を希望する方からの企画提案も適宜お受けします。
- 活用方法や管理運営に関して意見交換を行う外部組織「旧国立駅舎運営連絡会」を設置しました。

国立駅南口子育ち・子育て応援テラス（整備完了）

（１）整備の考え方

- ・ 2017（平成29）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめましたが、2021（令和3）年にJR東日本との用地交換が実現したため、国立駅南口複合公共施設用地はJR東日本グループが利活用することになりました。
- ・ 子ども向け公共施設の空白地帯であり、たくさんの人が集まりやすく学生の利用も多い国立駅の周辺には、子どもの遊べる場所が以前から望まれていました。
- ・ 「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」を部分的に継承する形で、子育て支援機能を持つ公共施設の整備に向けて、コンセプトや導入機能等について方向性をまとめた「国立駅南口子育て支援施設整備方針」を2022（令和4）年2月に策定しました。
- ・ JR東日本グループが建設した賃貸住宅の一部分を市が賃借して、子育て支援と次世代の育成に資する公共機能を整備しました。
- ・ 市の重要施策である「幼児教育環境の向上」につながる拠点となることを目指します。

（２）現在の状況

- ・ 「国立駅南口子育ち・子育て応援テラス」は、ここすきひろば（子育てひろば）とひととき保育室（お子さんの一時預かり）のほか、誰でも利用できる共有スペースを備えた施設として、2025（令和7）年にオープンしました。
- ・ この施設は、矢川プラスと同様に「くにたち子どもの夢・未来事業団」が指定管理者として管理運営しています。

施設紹介

▼館内マップ



▼ここすきひろば



▼ひととき保育室



▼つながるスペース



▼ひろがるこみち



施設紹介

▼アクセス



電車で来館する方

JR国立駅南口より徒歩1分程度です。
国立駅南口を出たら右手の歩道沿いにお越しください。

車で来館する方

駐車場5台（有料）をご利用いただけます。
※30分以内無料、4時間までは30分200円、以降は30分毎400円

自転車で来館する方

駐輪場28台（有料）をご利用いただけます。
※30分以内無料、4時間まで100円、以降当日営業時間内は100円追加

※ここすきひろば、ひととき保育室利用の方には4時間まで減免（自動車は半額、自転車は全額）あり。
※別途しょうがいしゃ専用駐車場1台（無料）あり。

所在地	国立市中1-1-47
休館日	毎月第2・第4火曜日、年末年始（12月29日～1月3日） ※館内各コーナーごとに開業時間等が異なります。詳細は下記のコーナーごとの情報をご確認ください。
開館時間	午前9時～午後10時
共有スペース （ひろがるこみち・つながるスペース）	カウンターデスクや、個人ごとに仕切られたワークブースがあります。読書や学習、休憩など気軽にご利用ください。また、電気ポットと電子レンジを備えたミニキッチンも設置しているのでランチタイムも安心です。 【利用できる方】個人でもグループでもどなたでもご利用いただけます。 【休業日】毎月第2・4火曜日、年末年始 【開業時間】午前9時～午後10時 ※原則として、小学生は午後6時まで、中高生は午後8時まで利用できます。
ここすきひろば （子育てひろば）	0歳～未就学のお子さんが親子で安心して過ごすことのできる室内の子育てひろばです。子育て相談や絵本の読み聞かせなども行っています。 【利用できる方】0歳～未就学のお子さんとその保護者 ※土・日・祝日やお盆休みなどの特定期間は、原則として市内在住のお子さんのみ利用できます。市外在住のお子さんでも、市内在住の祖父母または父母と一緒に来館した場合に限りご利用いただけます。 【休業日】毎週火曜日、年末年始 【開業時間】午前10時～午後5時
ひととき保育室 （一時預かり室）	保護者の通院や冠婚葬祭などで一緒にいられない時、リフレッシュしたい時、お買い物の間などの”ひととき”にお子さんをお預かりします。 【利用できる方】市内在住の満1歳以上で未就学のお子さん 【休業日】毎週火曜日、年末年始 【開業時間】午前10時～午後5時 【定員】6名 【料金】1時間につき800円 ※1か月につき8回まで、1回1時間単位で1日につき最長4時間まで

ここすき広場

あそぶ・そだつ



であう・つながる



まなぶ・はなす



国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ整備（整備完了）

(1) 整備の考え方

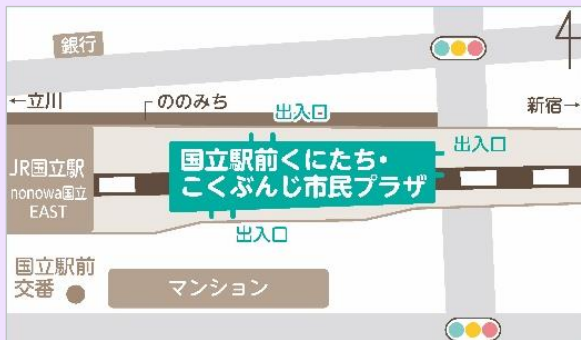
- 「国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ」は、「市民生活」をコンセプトとして、国立駅の東側高架下（nonowa国立EASTの東側）に整備された施設です。
- 2016（平成28）年4月に国分寺市と「国立駅東側高架下市民利用施設等の整備・利用事業に関する基本協定書」を締結し、広域連携のひとつのモデルとして、国分寺市と共同で整備しました。
- 各種証明書の発行や予約図書の引き渡しなどを行う市民サービスコーナー、くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」）、オープンスペース等の機能を有しています。

(2) 現在の状況

- 2018（平成30）年5月に整備を完了し、オープンしました。
- くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」）は、市の男女平等参画推進の拠点として、相談支援を中心に啓発や情報発信を行い、企業や関係機関・団体との連携を通して、男女平等参画の実現とともに、女性のエンパワーメントの推進、DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する予防啓発等を行っております。

施設紹介

▼位置図



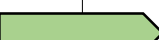
▶市民サービスコーナー（左）
オープンスペース（右奥）

▶パラソル

所在地	国立市北1-14-1
閉館日	年末年始（12/29～1/3）
開館時間	オープンスペース・会議室 【平日】 午前8時30分～午後10時 【土日祝】 午前9時～午後10時
	市民サービスコーナー 【平日】 午前8時30分～午後7時 【土日祝】 休館
	くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」） 【平日※水曜休館】 午前10時～午後7時 【土日祝】 午前9時～午後5時

▶施設配置図



事業	年 度											
	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9	令和 10
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
西1条線延伸部整備					整備完了							
3・4・10号線（南）整備					整備完了							
3・4・10号線（北）整備	経済動向等を勘案し着手時期を決定します。											
北1号線整備					整備完了							
西1号線整備									整備完了			
東1号線整備												
東2号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。											
東3号線整備	道路の損傷状況等を勘案し着手時期を決定します。											
国立駅北口駅前広場整備			整備完了									
国立駅南口駅前広場整備												
旧国立駅舎再築				整備完了								
国立駅南口子育て・ 子育て応援テラス整備									整備完了			
国立駅前くにたち・こく ばんじ市民プラザ整備			整備完了									



PAST

PRESENT

FUTURE



国立駅周辺整備事業の現在 2025. 9 改訂版

発行 国立市

編集 国立市都市整備部国立駅周辺整備課

表紙写真右列上から1枚目：1926（大正15）年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）
表紙写真右列上から2枚目：1964（昭和39）年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）